

総合知研究支援プログラム (令和 8 年度支援分第二回募集) 募集要項

1. 趣旨

広島大学創発的次世代研究者育成・支援プログラムに採用されている学生(次世代フェロー)、広島大学創発的次世代 AI 人材育成・支援プロジェクトに採用されている学生(次世代 AI フェロー)、広島大学女性科学技術フェローシップ制度に採用されている学生(理工系女性リサーチフェロー) (以下、総称し「次世代フェロー等」という。)が、自主的に研究チームを形成して学際的な共同研究を実施するための研究費を助成します。本プログラムにより、次世代フェロー等が自立した研究者として成長することを期待します。

2. 助成概要

(1) 助成対象等条件

- チームは、広島大学に所属する博士課程後期・博士課程学生 2 名以上で構成してください。メンバーは異なる研究分野に属している必要があります(異なる研究室に所属していれば可)。同一研究室に所属するメンバーの参加は認めません。特に、異なるプログラムに所属するメンバーでチームを形成することが推奨されます。(該当する場合は、審査において加算対象となります。)
- 参画するメンバーの自主的な意思・発案により新たに融合する研究課題を対象とします。**(メンバーが所属する研究室間の既存の共同研究課題や指導教員が主導する共同研究等は助成対象外となります。)**
- 参画するメンバー全員について、主指導教員の承認が得られていることを要件とします。
- **過去に本プログラムに採択された研究課題の継続等に該当する内容でないことを要件とします。**
- SDGs/平和に関連した社会課題に取り組む提案や、学年、性別、国籍等においてダイバーシティに富んだチーム編成での提案を特に推奨します。
- すべての研究分野が対象ですが、本学は 2030 年を目標とする「カーボンニュートラル×スマートキャンパス 5.0 宣言」を表明する等、カーボンニュートラルに向けて積極的な取り組みを行っていることから、カーボンニュートラルに関する提案を特に奨励します。

(2) 助成件数 5 件程度

(3) 助成金額 1 件あたり 100 万円以内

(4) 助成課題の研究期間 採択後から令和 9 年 3 月末まで(最大)

*研究期間は、令和 8 年 4 月 1 日以降に開始し、令和 9 年 3 月末までに完了する期間で、かつ申請代表者が次世代フェロー等に採用されている期間内で課題遂行に必要な期間を設定してください。

3. 申請資格

- (1) 申請代表者は次世代フェロー等に限りません。申請代表者以外のメンバーとなる学生は次世代フェロー等でなくても構いませんが経費執行ができるのは次世代フェロー等のみです。
- (2) 同一の次世代フェロー等が申請代表者として複数の申請を行うことはできません。
- (3) 申請代表者が他の申請の共同研究者となることには制限はありません。ただし、申請代表者と共同研究者を入れ替えたときみなされる申請を複数提案することは認められません。
- (4) 申請する研究期間途中で修了予定の学生はメンバーとして参画することはできません。

また、研究期間中に標準修了年限に達する見込みの者^{*}やすでに標準修了年限を超過している者についても原則参画を認めません。

^{*}博士課程後期の 3 年次 10 月入学者など、研究開始日時時点で標準修了年限における在籍期間が半年しかない者等

4. 経費執行と使用可能な費目

本プログラムの助成金の経理責任者は申請(研究)代表者の主指導教員となり、その教員を通しての経費執行となります。使用可能な費目の例は以下のとおりです。

(1) 物品費

- 本プログラムに申請する研究課題の実施に必要な設備・備品を新たに購入するための経費(取得価格 10 万円以上、かつ耐用年数 1 年以上)
- 本プログラムに申請する研究課題に必要な消耗品等を新たに購入するための経費(設備・備品に該当しない物品、書籍、研究用試薬・材料・消耗品等)

(2) 旅費

- 本プログラムに申請するメンバーの海外・国内出張(資料・情報収集、各種調査、打合せ、研究成果発表^{*}等)のための旅費(交通費、宿泊費、日当)(*助成期間内に開催される学会等に限る)

(3) 謝金

- 本プログラムに申請する研究課題の実施に協力(資料整理、実験補助、翻訳・校閲、専門的知識の提供、アンケートの配布・回収、研究資料の収集等)する者に係る謝金

(4) その他

- 上記の他、本プログラムに申請する研究課題を実施するための経費(印刷費、複写費、現像・焼き付け費、通信費(切手、電話等)、運搬費、専用施設の借料、会議費(会場借料、会議等に伴う飲食代・レセプション代(アルコール類を除く)等)、レンタル費用(コンピュータ、自動車、実験機器・器具等)、機器修理費用、研究成果発表費用(学会誌投稿料、ホームページ作成費用、研究成果広報用パンフレット作成費用)等)

5. 申請手続

申請者は、総合知研究支援プログラム申請書(様式 1、WORD 形式)を作成のうえ、「9. 問い合わせ先」に記載されているアドレス宛に E-mail に添付して提出してください。その際、E-mail の件名は、必ず「総合知研究支援プログラム申請」としてください。

6. 申請締切

令和 8 年 5 月 29 日(金) 正午(日本時間)

7. 選考方法及び選考結果通知

選考は、原則書面審査により行いますが、面接を行う場合があります。選考結果については、令和 8 年 1 月中旬を目途に、応募者全員に E-mail にて通知する予定です。なお、採否理由などの問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください。

8. その他

採択された場合、申請(研究)代表者は、助成期間終了後 1 ヶ月以内に、総合知研究支援プログラム実績報告書(様式 2、WORD 形式)の提出が必須となります。なお、研究成果報告会での発表も必須であり、報告

令和8年4月

会の録画を広島大学大学院生支援プロジェクト Web サイト (<https://www.hiroshima-u.ac.jp/fellowship>)に掲載いたします。また、別途インタビュー等を実施する場合がありますので、その際にはご協力をお願いいたします。

9. 問い合わせ先

HU SPRING 事務局 (E-mail: hu-spring@office.hiroshima-u.ac.jp)